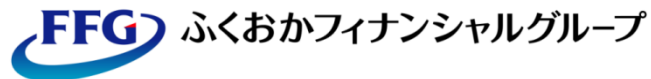


APIの取り組みについて

2023年12月8日



目次

- 1.福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行のオープンAPIの取り組み
- 2.みんなの銀行のオープンAPIの取り組み
- 3.参考資料

FFGの2wayアプローチ

FFGの2wayアプローチ～両利きの経営～

III みんなの銀行 市場創造



デジタルバンクの新設

ビジネスモデルを
ゼロベースで創造

知の
“探索”

既存ビジネスモデルの変革

“デジタル×ヒューマン”
による
他社との差別化

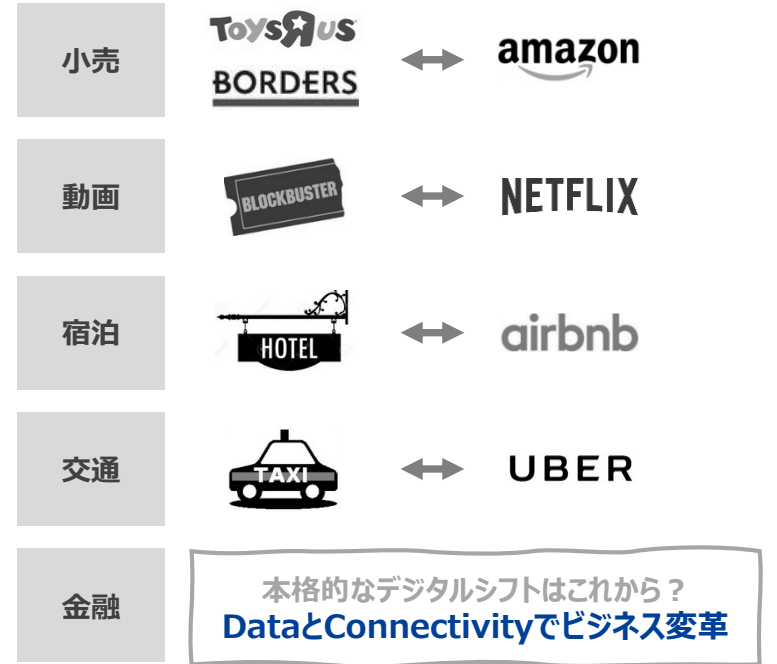
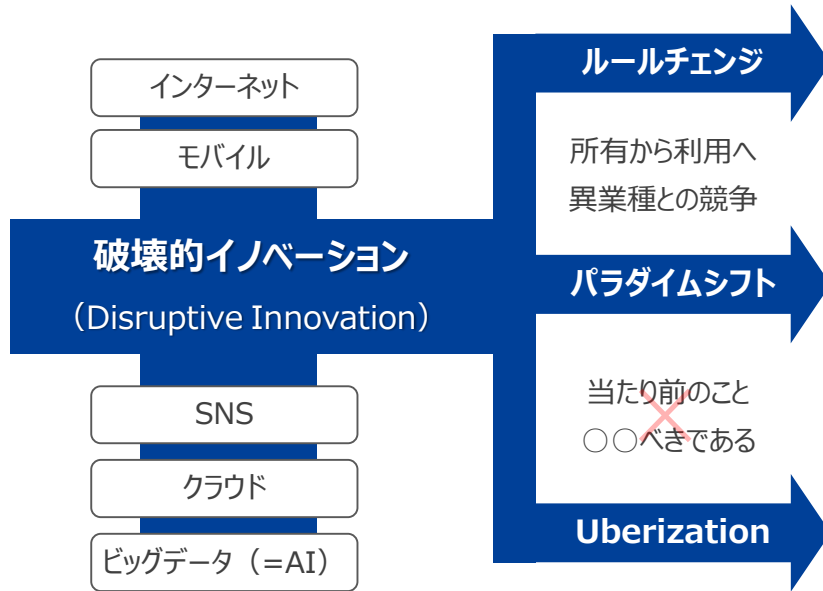
知の
“深化”

デジタルテクノロジーの進展に伴うイノベーション (Digital Banking Transformation : DBXの必然性)

デジタルテクノロジーの進展



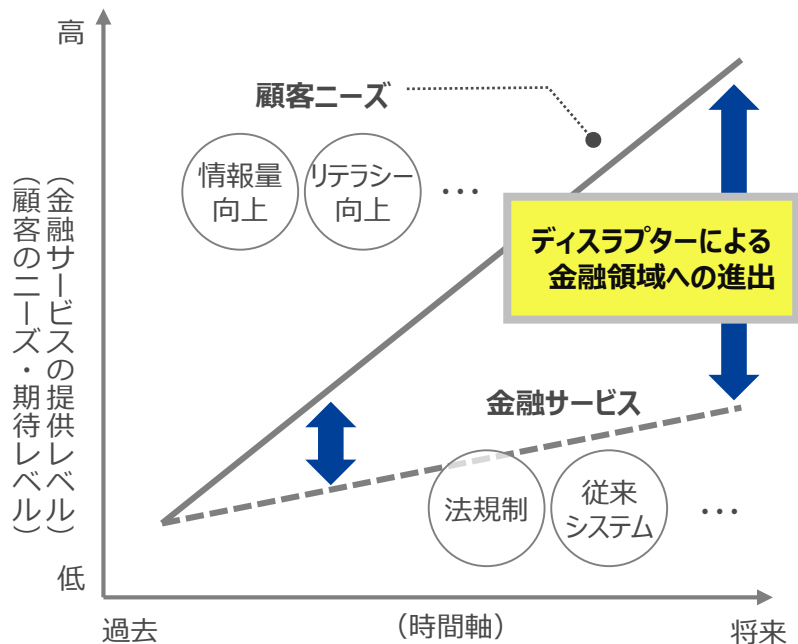
ビジネスモデルの大変革 (イノベーション)



顧客期待と金融サービス提供レベルのギャップ

- **金融サービスの提供レベルと顧客ニーズ（期待レベル）のギャップの拡大**に伴い、2010年代後半から金融領域へのディスラプター（非金融事業者含む）の参入が急速に進展。

顧客ニーズと金融サービスの提供レベルの乖離



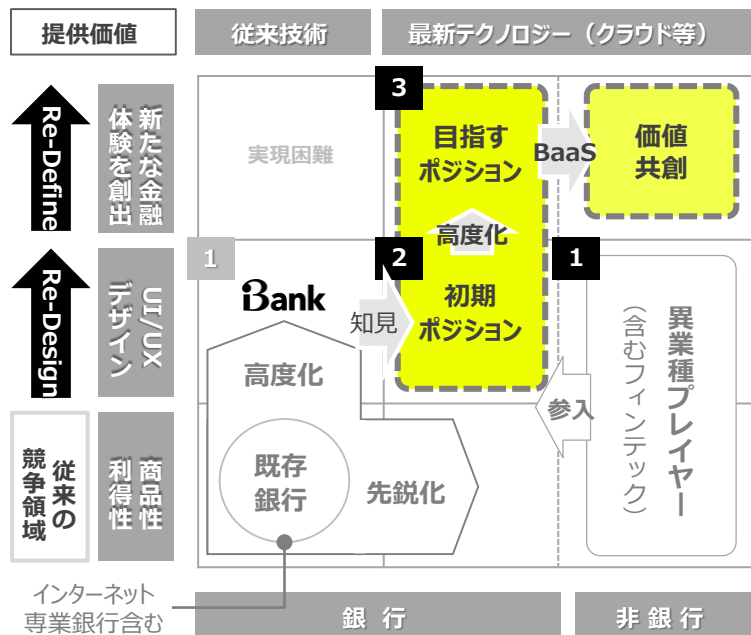
金融業界における非金融事業者参入の歴史



みんなの銀行が目指す新しい金融サービスの行方

- 『みんなの銀行』は、先行して立ち上げた日本初のネオバンク：iBankで得られた知見をベースに、日本初のチャレンジャーバンク・デジタルバンクとしてのポジションを確立すると共に、BaaSによるエコシステム連携を通じて「銀行」の枠組みを超えた新たな顧客体験の創出を目指す。

金融業界におけるポジショニングマップ



金融DXの進化論 (DBX : Digital Banking Transformation)

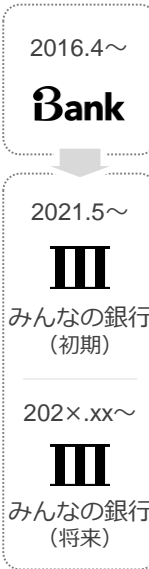


- デジタルで銀行商品を代理提供
- 金融×非金融のサービスイノベーション

- デジタルで『銀行』を再デザイン
- 優れたUI/UXで商品・サービスを向上

- デジタルで『銀行』を再定義
- デジタルネイティブなアプローチで銀行としての新たな機能を創造

FFGでは...



1. 福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行のオープンAPIの取り組み

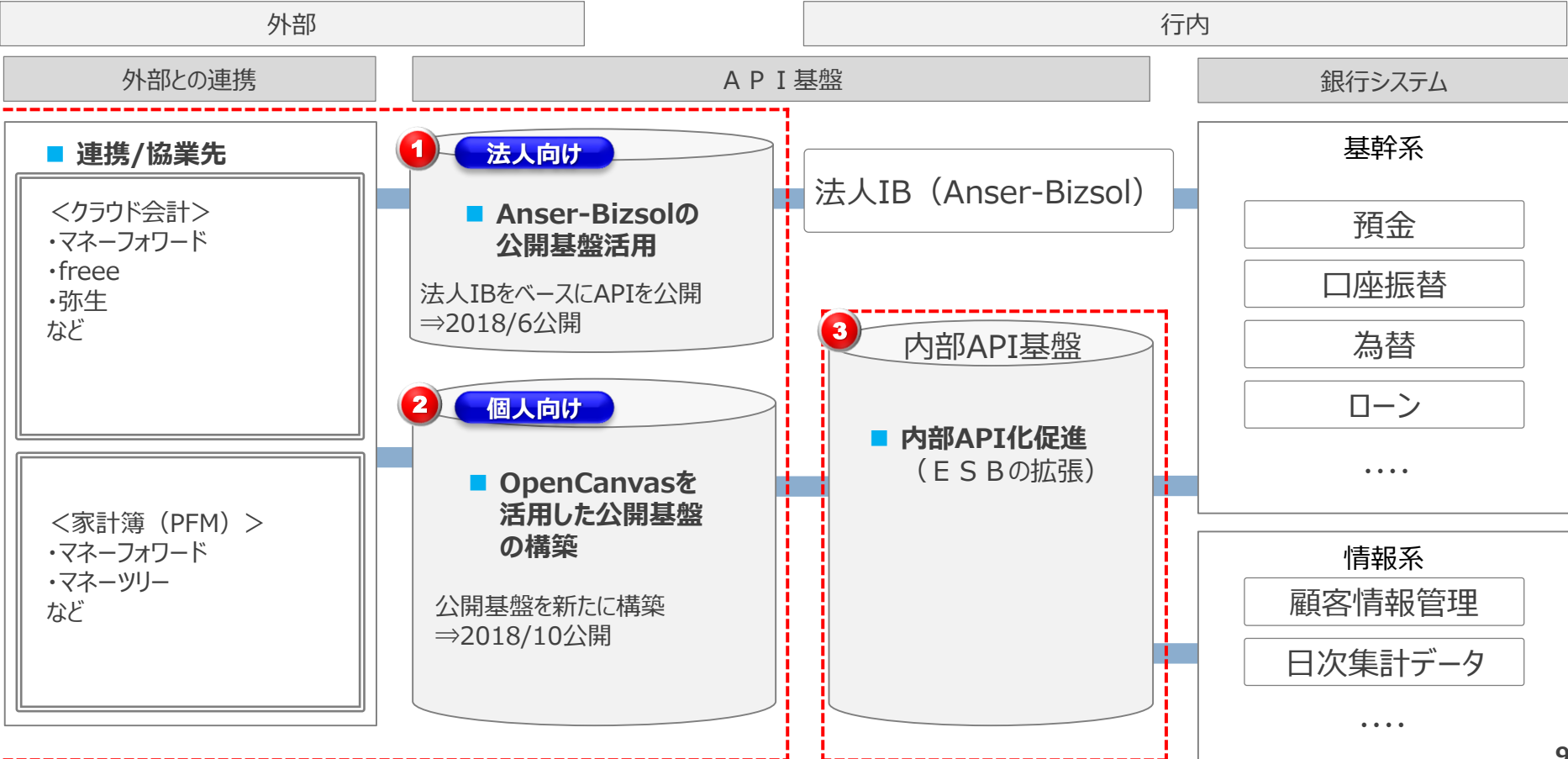
1-1.オープンAPIの取り組み経緯

- 2017年6月公布の改正銀行法にて、オープンAPI導入に係る体制整備が求められたことから本格的な検討を開始
- 2018年6月に法人向け、2018年9月に個人向けのオープンAPI基盤を公開

改正銀行法（2017年6月2日公布）要点

項目	概要	対応時期
フィンテック企業への義務化措置	▶ フィンテック企業を「電子決済等代行業者」として定義し登録制を導入、体制整備・安全管理にを義務化	—
金融機関への義務化措置	▶ ①「電子決済等代行業者との連携及び協働に係る方針」の策定・公表	▶ 2018年3月
	▶ ②「電子決済等代行業者」との接続に係るセキュリティ基準や仕様の策定・公表	▶ 2018年6月
	▶ ③オープンAPI導入に係る体制整備（システム開発や事務処理対応）の努力義務	▶ 法人向け 2018年6月 ▶ 個人向け 2018年9月
	▶ サービス提供にあたって、金融機関と電子決済等代行業者間の契約締結・公表を義務化 1. 利用者損害に係る賠償責任の分担（責任分解点の設定） 2. 利用者情報の適正な取扱・安全管理措置	▶ 都度対応

1-2.システム構成概要



1-3.提供しているAPI

- 法人インターネットバンキング契約者向けにAnserBizSOLで提供しているAPIを公開
- キャッシュカード保有者向けに、新たなオープンAPI基盤を整備し、残高照会、入出金明細照会、口座振替のAPIを整備

種別	提供中のAPI/概要・科目		
法人のお客さま向け (インターネットバンキングを ご契約のお客さま)	総合振込依頼	更新系	総合振込のデータ作成指示
	給与・賞与振込依頼	更新系	給与・賞与振込のデータ作成指示
	残高照会	参照系	普通預金、当座預金
	入出金明細照会	参照系	
個人のお客さま向け (キャッシュカードを保有 のお客さま)	残高照会	参照系	普通預金、貯蓄預金、定期預金、積立定期預金、投資信託、外貨普通預金、外貨定期預金、公共債、住宅ローン、カードローン、その他ローン
	入出金明細照会	参照系	普通預金、外貨普通預金
	口座振替	更新系	口座振替受付、リアルタイム口座振替

1-4. 接続済みの事業者

- 電子決済代行業者 12社とAPI接続済み（ホームページ公表分にはAPI以外での接続を行っている電子決済等代行業者あり）
- 自社サービス利用：3社（ふくおかフィナンシャルグループ含む）
- プライベート接続：福岡の地場企業1社

区分		事業者	
API接続	電子決済等代行業者	マネーフォワード、フリー、マネーツリーなど	12社
	自社サービス利用	ふくおかフィナンシャルグループ（MINAコイン、こうふりネット）など	3社
プライベート接続（自社利用）		福岡地場企業	1社

1-5.これまでの振り返り

- 接続審査・継続的な管理負担軽減
 - 電子決済等代行業者の審査業務をふくおかフィナンシャルグループ（FFG）に集約
 - KPMGあずさ監査法人のAUP（合意された手続）を活用した審査・モニタリング業務の簡略化

- APIの活用推進
 - 自社サービスでのAPI活用（MINAコイン、こうふりネット）

API活用推進事例 MINAコイン（十八親和銀行）

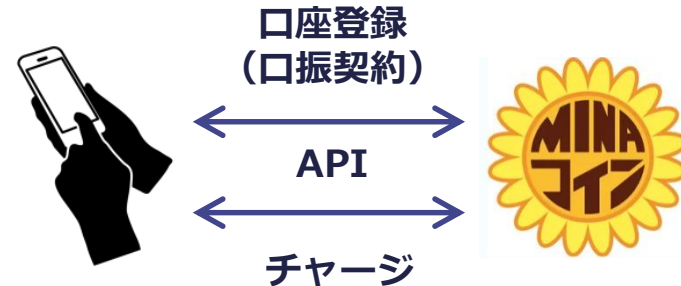
✓ 南島原市（長崎県）電子地域通貨「MINAコイン」におけるチャージ機能

- スマートフォンを使った電子地域通貨（＝電子マネー）で、南島原市内の事業所でのみ利用可
- MINAコインを利用することで、市外ではなく市内の事業所での消費機会を増やし、資金が市内に循環することで、地域経済の活性化を目指す

MINAコインで
南島原市内の
お買い物をスマートに

App Store からダウンロード
Google Play で手に入れよう

MINAコイン
加盟店募集中
申し込みはこちら

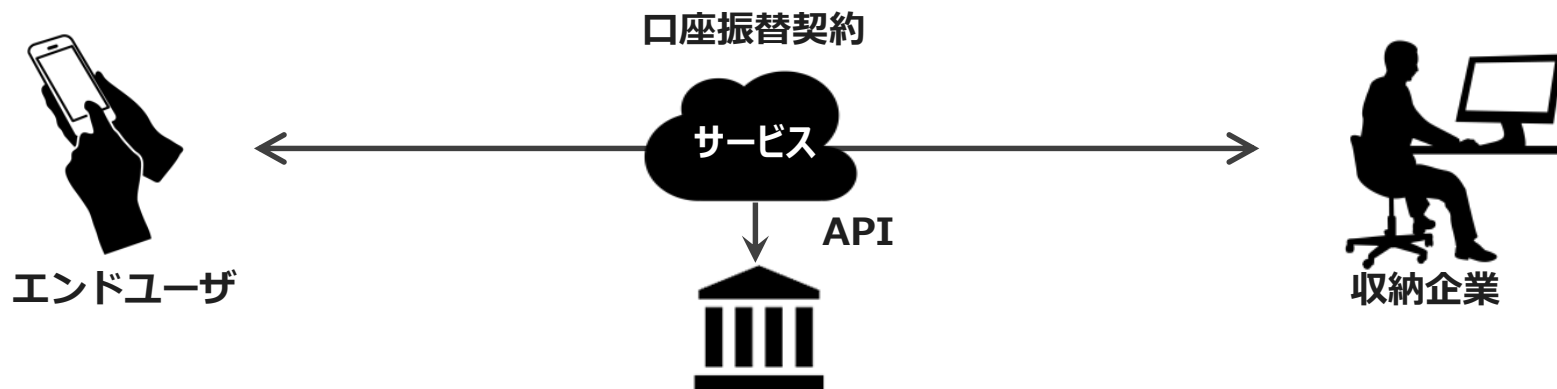


※サービス開始から半年間で1万8千ダウンロード

API活用により、スピーディに銀行機能（チャージ機能）を提供

API活用推進事例 こうふりネット（福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行）

✓ WEB口座振替契約受付サービスでの活用（自社開発）



<企業・利用者メリット>

- 口座振替契約手続きの簡便化（ペーパーレス化）、利便性向上
- 地場企業が導入しやすい提供形態

<銀行メリット>

- 銀行業務の効率化

**開発したAPIは、自社開発サービス等にも転用
（開発負荷↓、開発スピード↑）**

みんなの銀行のAPI (BaaS) の取組について

みんなの銀行について

プロジェクト構想時に描いたシナリオ

「未来の」銀行顧客である
デジタルネイティブ世代にとっての
新しい銀行を創る。



コバンキング
システム



顧客の声をもとにした
サービス開発や改善活動を柔軟
かつスピーディに
行うことができる仕組み
(組織×システム)

Google Cloud

世界で初めてGoogle Cloud上にコバンキングシステム
を構築し、開発期間1年半という短期間で銀行を設立

未来の銀行とは・・・？

ユーザー

銀行に来店する？
データがあふれる世界
価値あるものに投資
すべてをミニマルに

→ 店舗は不要
→ 個々に最適化
→ 成果主義
→ 無駄を排除

銀行

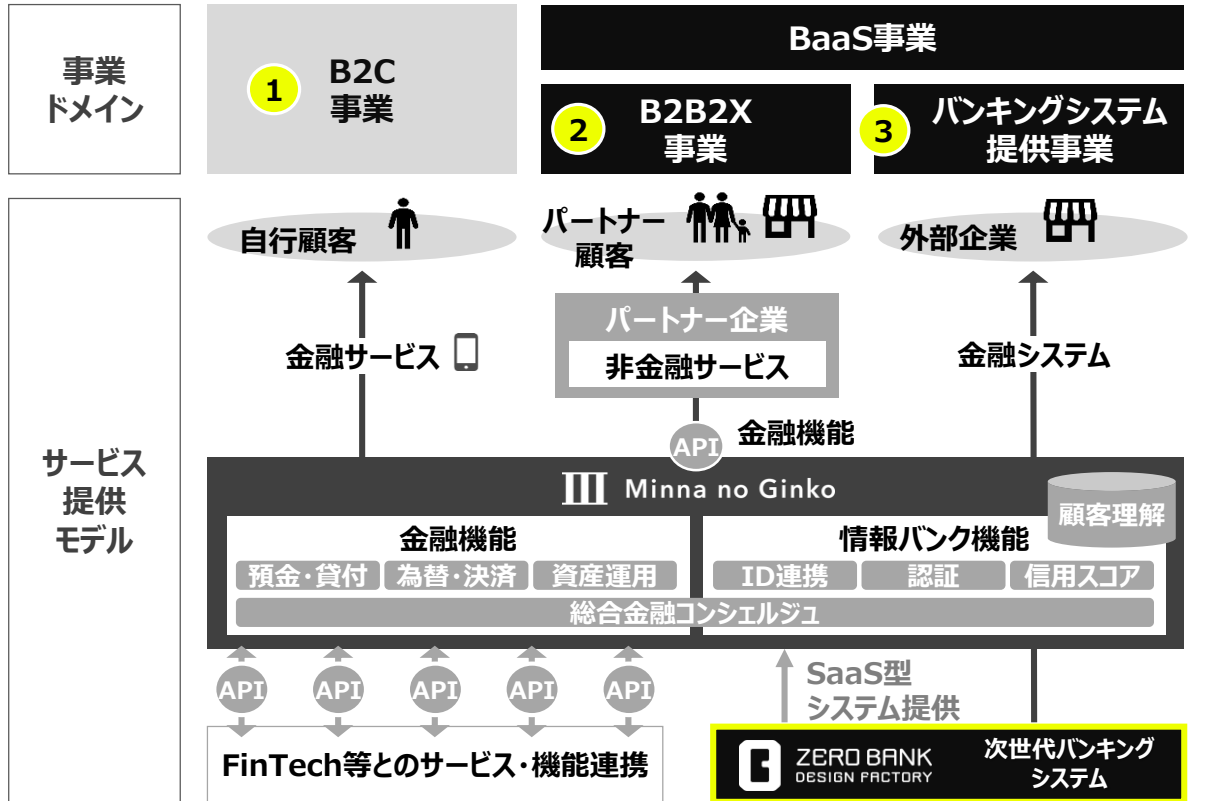
地方の人口減少
若者の銀行離れ
金利収益の低下
重たいシステム

→ デジタルで全国に
→ 若年層にフォーカス
→ あらたなビジネス構造
→ ゼロからクラウドベースで

銀行自身が、『銀行』を
Re-Design (再設計)
Re-Define (再定義) する

DX で再定義した
『銀行』の将来像を追求
exploration (探求)

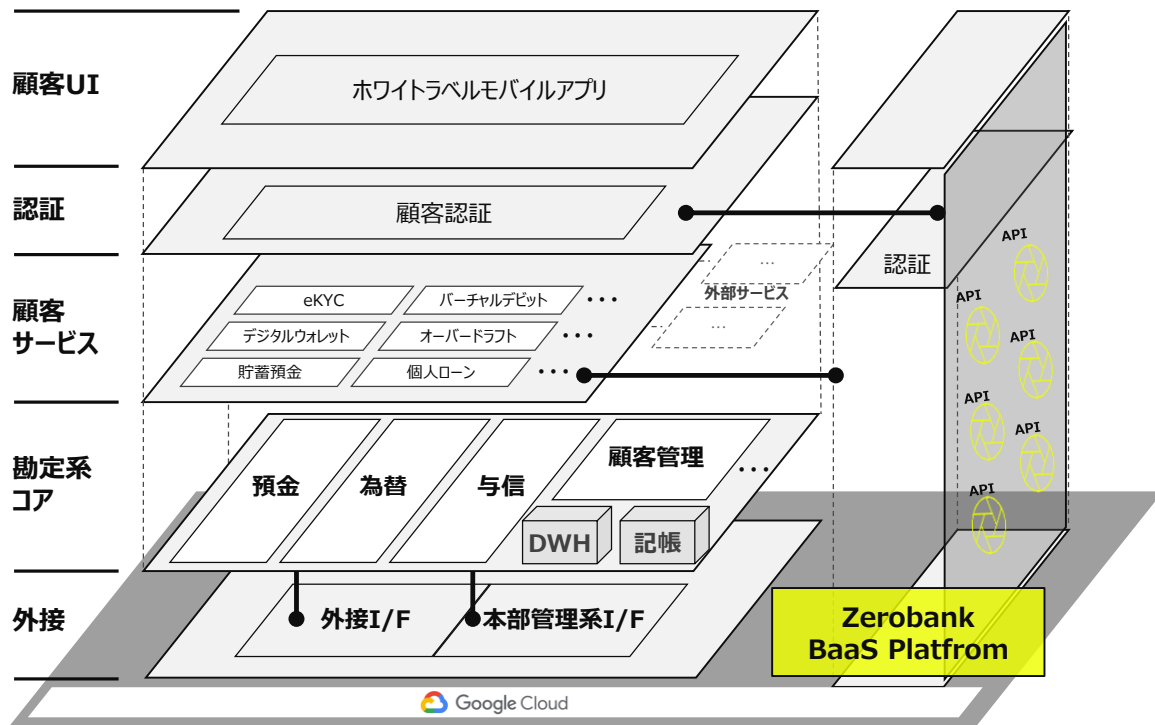
みんなの銀行の事業ドメイン



- みんなの銀行は新たな金融の価値創造を一つの目標として設立。
- 九州北部を中心にリアルチャネルで顧客基盤をもつFFGのデジタルチャネル。
- BtoBのビジネスドメインは存在せず、B2B2X・・・のBaaS事業を展開。
- GoogleCloud上にシステムを構築し、開発も内製化している。

バンキングシステムの全体概要

- 最新のテクノロジーとアーキテクチャーコンセプトを導入し、パブリッククラウド上に実装された軽量かつ柔軟な次世代バンキングシステムを構築。
- バンキングシステム提供事業として、システムそのものを他事業者販売し、世界/国内トレンドのBaaSを加速させていく。



1

クラウド ネイティブ

パブリック・クラウド上にコア・バンキングシステムを構築し、スケーラビリティ・耐障害性・柔軟性を担保

2

マイクロサービス & API ネイティブ

サービス間はマイクロサービス&APIアーキテクチャで疎結合され、手軽な機能開発/改変を実現可能

3

デジタル ネイティブ

デジタル完結の業務プロセスを構築し、人手を最小限に

4

データ ネイティブ

ニアリアルタイムでDWHに顧客データを集積・分析し、顧客に合ったハイパーパーソナライズの提案を可能に

5

DevSecOps ネイティブ

パイプラインや資産管理などにDevSecOpsアセットを駆使し、システム開発・運用を効率化

6

BaaS ネイティブ

FAPIによるセキュアな銀行APIの公開を可能とするBaaS基盤を具備し、外部サービスとの連携を容易に

参考資料

福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行のオープンAPI関連の公開情報

● ホームページ

- 福岡銀行 電子決済等代行業者との連携及び協働について：<https://www.fukuokabank.co.jp/collaboration/>
- 熊本銀行 電子決済等代行業者との連携及び協働について：<https://www.kumamotobank.co.jp/collaboration/>
- 十八親和銀行 電子決済等代行業者との連携及び協働について：<https://www.18shinwabank.co.jp/collaboration/>

● 開発者ポータル

- 福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行 法人向け（AnserBizSOL）：<https://portal.opencanvas.ne.jp/api/bizsolapist/>
- 福岡銀行 開発者ポータル：<https://portal.opencanvas.ne.jp/api/apilist/fukuokabankv1/>
- 熊本銀行 開発者ポータル：<https://portal.opencanvas.ne.jp/api/apilist/kumamotobankv1/>
- 十八親和銀行 開発者ポータル：<https://portal.opencanvas.ne.jp/api/apilist/18shinwabankv1/>

● APIを活用したサービス

- MINAコイン：<https://www.18shinwabank.co.jp/personal/service/minacoin/>
- こうふりネット：<https://trigon-manager.fukuoka-fg.com/lp/fukuokabank/>

end